

地方自治をめぐる環境変化と 自治体職員のありかた

地方自治法が施行されて、昨年で 70 周年を迎えました。70 周年の記念行事が開催されたことは記憶に新しいことと思います。この間、地方自治をめぐる大きな環境変化があり、地方自治法も状況に応じて改正されてきました。

当然、地方自治をめぐる環境変化は、求められる自治体職員像にも変化をもたらします。70 周年を超えた今、今後の地方自治をめぐる環境変化、また、その変化に対応できる望ましい自治体職員像について、金井教授から基調講演をいただき、その後参加者全員で意見交換します。

日時

7月21日(土) 13:30~17:00 (先着 75 名 参加費500円)
基調講演 「戦後 70 年の自治の今後と未来」
講師 金井利之さん(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

90分程度の基調講演の後、名城大学教授 昇秀樹さん(東海自治体学会顧問)との対談、その後参加者全員による意見交換を行います。

交流会(先着 30 名程度) 17:30~
交流会参加費 4千円程度(当日会場でいただきます。)

会場

ウインクあいち 1003号会議室
所在地：名古屋市中村区名駅 4 丁目 4 番 38 号
(JR 名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩 5 分)
地図→<http://www.winc-aichi.jp/>

申込

NPO法人 ボランティアネイバーズ
メール：vns@vns.or.jp 電話:052-979-6446 Fax:052-979-6448
裏面申込書の提出又は氏名・所属・連絡先など、裏面申込内容項目を記載のうえ、「東海自治体学会研究会参加」と明記してお申し込みください。(先着 75 名)
交流会参加希望の方は、その旨もお伝えください。(先着 30 名程度)



講師プロフィール 東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井利之 さん

1967 年群馬県生まれ。89 年 3 月東京大学法学部卒業、4 月東京大学法学部助手(行政学)、92 年 10 月東京都立大学法学部助教授(都市行政論・行政学)、94 年オランダ国立ライデン大学社会科学部行政学科客員研究員、2002 年 4 月東京大学大学院法学政治学研究科助教授(都市行政学・行政学)を経て、2006 年 4 月同教授。

近著「行政学講義 日本官僚制を解剖する」ちくま新書(2018 年 2 月刊)

◆主催 東海自治体学会 ◆後援 自治体学会(予定)